

さくらインターネット株式会社（3778） 2011年3月期 通期決算説明会

代表取締役社長 田中邦裕

2011年5月10日

さくらインターネット株式会社

(C)Copyright 1996-2011 SAKURA Internet Inc.

東日本大震災により被害を受けられた皆さま、
ならびにご家族の方々に、謹んでお見舞い申し上げます。

災害発生時にインターネットが担った役割を振り返り、今後もまだまだ皆さまのお役に立てると信じております。

被災地の一日も早い復興のため、インターネットに何が出来るかを考え、微力ながらも最大限の支援を継続させていただきます。

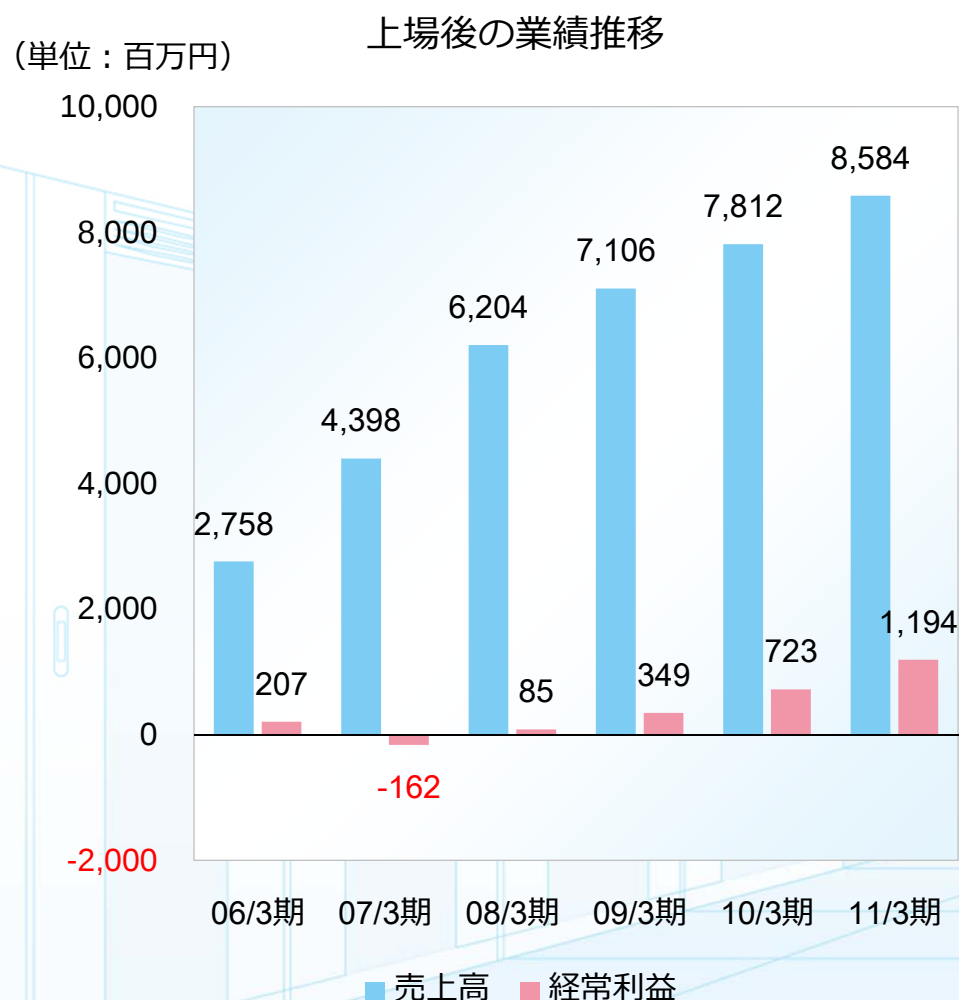
一日も早い復興と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

I.	さくらインターネットについて	・ ・ ・ ・	P.4
II.	業績概要	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	P.7
III.	中期経営計画の進捗	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	P.15
IV.	今後の展望	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	P.24

I. さくらインターネットについて

1. 会社プロフィール

- 当社は、2005年10月に東証マザーズへ上場し、その後も着実に事業成長を続けています



商 号	さくらインターネット株式会社
本 社 所 在 地	大阪市中央区南本町一丁目8番14号
設 立 年 月 日	1999年8月17日 (サービス開始は1996年12月23日)
経 営 陣	代表取締役 社長 田中 邦裕 取締役 副社長 舘野 正明 取締役 川田 正貴 取締役 澤村 徹 取締役 村上 宗久 取締役 (社外) 瓦谷 晋一
上 場 年 月 日	2005年10月12日 (東証マザーズ)
決 算	3月末日
資 本 金	8億9,530万円
従 業 員 数	169名

(※2011年3月31日現在)

2. 事業ドメイン

- 国内インターネットの黎明期から、コロケーションとホスティングの双方を提供しています

柔軟性・拡張性（高） / 導入簡便性（低）

柔軟性・拡張性（低） / 導入簡便性（高）

収益性（低） / サービス単価（高）

収益性（高） / サービス単価（低）

【コロケーション】

サービス提供者が運営するデータセンター内に、顧客が所有する通信機器類やサーバなどの設置スペースを提供するサービス

オープンスペース単位

個室（ケージ）単位



ラック単位
ハウジング
サービス

【ホスティング】

サービス提供者が管理・運用する通信機器類やサーバなどを、Web上で顧客に貸与するサービス



当社の事業ドメイン

専有
ホスティング
専用サーバ
サービス

仮想化
ホスティング
VPS・クラウド
サービス

共有
ホスティング
レンタルサーバ
サービス

II.業績概要

1. 損益計算書（年次推移）

（金額：百万円）

科目名	09/3期		10/3期		11/3期		前期比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	7,106	100.0	7,812	100.0	① 8,584	100.0	771	9.9
売上総利益	1,835	25.8	2,271	29.1	2,816 ②	32.8	545	24.0
営業利益	392	5.5	748	9.6	1,225	14.3	476	63.7
経常利益	349	4.9	723	9.3	1,194	13.9	470	65.0
当期純利益	374	5.3	567	7.3	572 ③	6.7	5	1.0

- ① コロケーション分野の受注に苦戦したが、ホスティング分野の受注が好調
- ② 収益性の高い**ホスティング分野の売上構成比が大幅に増加**したため
[売上総利益率：10/3期 29.1% → 11/3期 32.8%]
- ③ 法人税等が大幅に増加したため
[当期純利益率：10/3期 7.3% → 11/3期 6.7%]

1. 損益計算書（四半期推移）

（金額：百万円）

科目名	11/3期				前四半期比較	
	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(Q4)	増減額	増減率
売上高	2,094	2,117	2,157	2,215	58	2.7
売上総利益	706	714	698	696	① △2	△0.3
売上総利益率(%)	33.8	33.8	32.4	31.4		
営業利益	314	340	291	279	△12	△4.3
営業利益率(%)	15.0	16.1	13.5	12.6	②	
経常利益	309	336	277	271	△6	△2.3
経常利益率(%)	14.8	15.9	12.9	12.2		
四半期純利益	108	190	160	113	△47	△29.4
四半期純利益率(%)	5.2	9.0	7.4	5.1	③	

- ① 堂島データセンターのフロア拡張（減価償却費・賃借料UP)によるコストアップ
- ② 東京支社のフロア増床によるコストアップ
- ③ 池袋データセンターの閉鎖を決定したことによる、減損損失の計上

2. サービス別売上高（年次推移）

（金額：百万円）

科目名	09/3期		10/3期		11/3期		前期比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	7,106	100.0	7,812	100.0	8,584	100.0	771	9.9
ハウジング	2,872	40.4	3,004	38.5	3,019	35.2	14	0.5
専用サーバ	2,214	31.2	2,669	34.2	3,184	37.1	515	19.3
レンタルサーバ	943	13.3	1,195	15.3	1,469	17.1	273	22.9
その他	1,076	15.1	942	12.1	910	10.6	②△32	△3.4

- ① コロケーション分野の受注に苦戦したが、**ホスティング分野の受注が好調**
（新サービスの投入、既存サービスの機能強化、サービスラインナップの拡充が要因）
- ② 前期に提供を終了したサービス分の売上減やハウジングサービスの新規受注に伴うオプションサービスの売上減が要因

2. サービス別売上高（四半期推移）

（金額：百万円）

科目名	11/3期				前四半期比較	
	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(Q4)	増減額	増減率
売上高	2,094	2,117	2,157	2,215	58	2.7
ハウジング	750	758	754	756	2	0.3
対売上高比率(%)	35.8	35.8	35.0	34.1		
専用サーバ	772	788	798	825	① 26	3.3
対売上高比率(%)	36.9	37.2	37.0	37.2		
レンタルサーバ	344	361	375	388	13	3.7
対売上高比率(%)	16.4	17.1	17.4	17.6		
その他	227	209	228	245	② 16	7.2
対売上高比率(%)	10.8	9.9	10.6	11.1		

- ① 継続的に実施した既存サービスの機能強化やサービスラインナップの拡充が要因
- ② 好調な「さくらのVPS」の受注（11年3月にサービスラインナップの拡充を実施）

3. 貸借対照表

(金額：百万円)

科目名	09/3期	10/3期
流動資産	1,872	① 4,714
固定資産	3,204	5,094
有形固定資産	2,587	② 4,464
無形固定資産	99	129
投資その他資産	518	500
資産合計	5,077	9,809

科目名	09/3期	10/3期
負債	3,322	7,525
流動負債	2,792	3,683
固定負債	530	③ 3,841
純資産	1,755	2,284
株主資本	1,696	2,225
負債・純資産合計	5,077	9,809

- ① 長期借入れなどによる現預金の増加
- ② 堂島データセンターのフロア拡張や石狩データセンターの用地・建設仮勘定
- ③ 石狩データセンター建設資金の調達を目的とした長期借入れの増加

4. キャッシュ・フロー（年次推移）

（金額：百万円）

科目名	09/3期	10/3期	11/3期	前期増減額
営業CF	1,031	2,021	2,204	183
投資CF	△730	△993	① △2,575	△1,581
営業CF－投資CF	301	1,028	△370	△1,398
財務CF	△803	△679	② 2,896	3,575
現金及び現金同等物の増減額	△502	349	2,526	2,176
現金及び現金同等物の期末残高	822	1,172	3,698	2,526

- ① 堂島データセンターのフロア拡張や石狩データセンターの用地取得・建設に伴う設備投資の増加
- ② 石狩データセンターの建設資金調達を目的とした長期借入れによる収入

4. キャッシュ・フロー（四半期推移）

（金額：百万円）

科目名	11/3期				前四半期 増減額
	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(Q4)	
営業CF	493	503	567	640	72
投資CF	△271	△238	△639 ①	△1,426	△786
営業CF－投資CF	222	265	△72	△785	△713
財務CF	△165	△143	249 ②	2,955	2,705
現金及び現金同等物の増減額	56	122	177	2,169	1,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,228	1,351	1,528	3,698	

① 石狩データセンターの建設に伴う設備投資

② 石狩データセンターの建設資金調達を目的とした、長期借入れによる収入

III. 中期経営計画の進捗

1. 計画概要

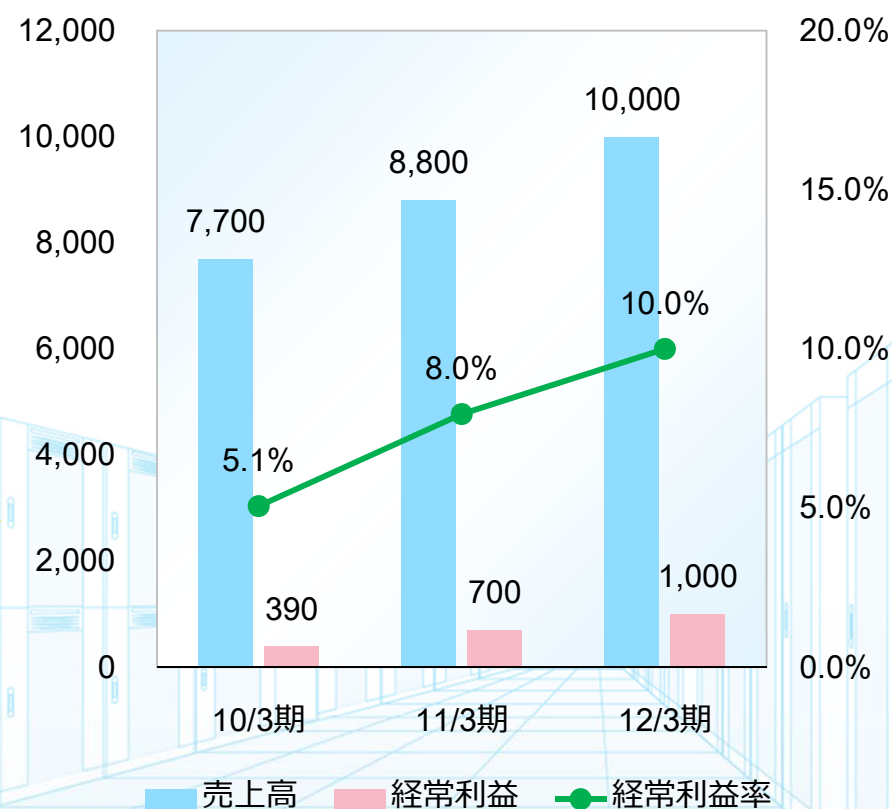
中期経営方針

あらゆる既存からの脱却を図り、
持続的な成長を実現する仕組みを作る

－ さくらインターネット 5つの戦略課題－



(単位：百万円) 中期経営計画の当初目標値



〔業績目標〕
売上高100億円、経常利益10億円

2. 戦略課題の進捗

戦略課題

重点施策

主な実績

事業・サービス

顧客領域の拡大

- ・ 双日㈱から営業部門の管掌役員を招聘（10年6月）
- ・ 一般法人に特化した営業チームを創設（10年7月）

インバウンド機能の強化

- ・ コールセンタースタッフを増員（10年5月）
- ・ 蓄積した顧客対応ノウハウをマニュアル化（継続対応）

既存サービスのブラッシュアップ

- ・ レンタルサーバサービスのディスク容量強化（10年3月）
- ・ 専用サーバサービスのサーバリニューアル（11年2月）

料金体系のバリエーション化

- ・ さくらのマネージドサーバ（09年12月）
※10年6月・11年3月に上位プランを投入
- ・ 専用サーバ Platform St（09年7月）

新たなサービスの創造

- ・ さくらのVPS（10年9月）
※11年3月に上位プランを投入

2. 戦略課題の進捗

戦略課題

IT インフラ 調達

重点施策

バックボーン網の
最適化

データセンター
の統廃合と
最新鋭データセ
ンターの調達

コスト競争力に優
れたサーバ開発・
調達体制の構築

主な実績

- ・バックボーンネットワーク容量の継続増強
- ・複雑化したネットワークインフラをシンプルに再構築し、ネットワーク管理の効率化を図る

- ・本町データセンターを閉鎖（10年8月）
- ・池袋データセンターの閉鎖を決定（12年3月期中に閉鎖予定）
- ・石狩データセンターの建設（11年秋より運用開始）

- ・機材調達に特化した組織を設け、集中購買により、仕入コストの削減と在庫適正化を図る

2. 戦略課題の進捗

戦略課題

重点施策

主な実績

組織

生産性の向上を実現する組織改編と拠点の統廃合

機動的開発体制の整備と中長期的技術研究の推進

- ・複数の組織や拠点に分散していた事業機能を東京支社に集約（09年10月・11年2月）
- ・インターネットに関する技術研究組織「さくらインターネット研究所」を創設（09年7月）

経営基盤強化

業務プロセスの抜本的な見直しなどによるオペレーション体制の強化

- ・市場環境の変化に耐えうる新基幹システムの導入（11年3月から一部導入、12年3月期中にコアパートの導入完了予定）

財務・資本

強固な財務基盤の確立と適切な資本構成の実現

- ・事業成長に要する設備投資資金を、安定的かつ効率的な資金調達手段で確保（11年3月期中に実行）
- ・双日株式会社との資本関係強化（11年3月）

3. 双日グループとの関係強化

事業・サービス

顧客領域の拡大

財務・資本

強固な財務基盤の
確立と適切な資本
構成の実現

関係強化の目的

- 国内トップクラスの**企業集団のリソースを活用**
- 総合商社のネットワーク活用
 - 顧客領域の拡大** 新分野でのサービス開発
 - 海外展開の検討 最新技術の発掘
 - スケールメリットの強化

<グループ間実績>

◎グループ内企業からの受注

- (例) ・株式会社排出権取引市場
「Japan Climate Exchange」
(排出権総合情報提供、及び取引サービス提供)
- ・コーリンク株式会社
「Coaling.com」
(エネルギー総合情報提供及び、石炭取引サービス提供)
- ・双日システムズ株式会社
双日グループ関係会社のITインフラ

◎双日グループ内からの顧客紹介/共同受注

- 大手SIer企業 (行政関連案件)
- エンターテインメント企業 (キャラクター関連案件)



▲「Japan Climate Exchange」Web画面

4. 好調な「さくらのVPS」の受注動向

事業・
サービス

新たなサービスの
創造

料金体系の
バリエーション化

専有サーバ
並みの
高い自由度

共用サーバ
並みの
低価格



(単位：百万円)

さくらのVPS 売上高推移



プラン名		512	1G	1.5G	4G	8G
仕様	月額料金 (円)	980	1,480	1,980	3,980	7,980
	初期費用 (円)	0	2,980	4,980	9,980	19,980
	メモリ (バイト)	512M	1G	1.5G	4G	8G
	HDD (バイト)	20G	30G	50G	120G	240G
利用中件数	Q2末	1,856	—	—	—	—
	Q3末	5,909	—	—	—	—
	Q4末	9,833	161	154	175	68

5. バックボーンネットワーク回線容量の継続増強

※ インプレスビジネスメディア「インターネットデータセンター完全ガイド2010年夏号」『iDC なんでもランキング「インターネット回線総量Top20!」』にて第1位

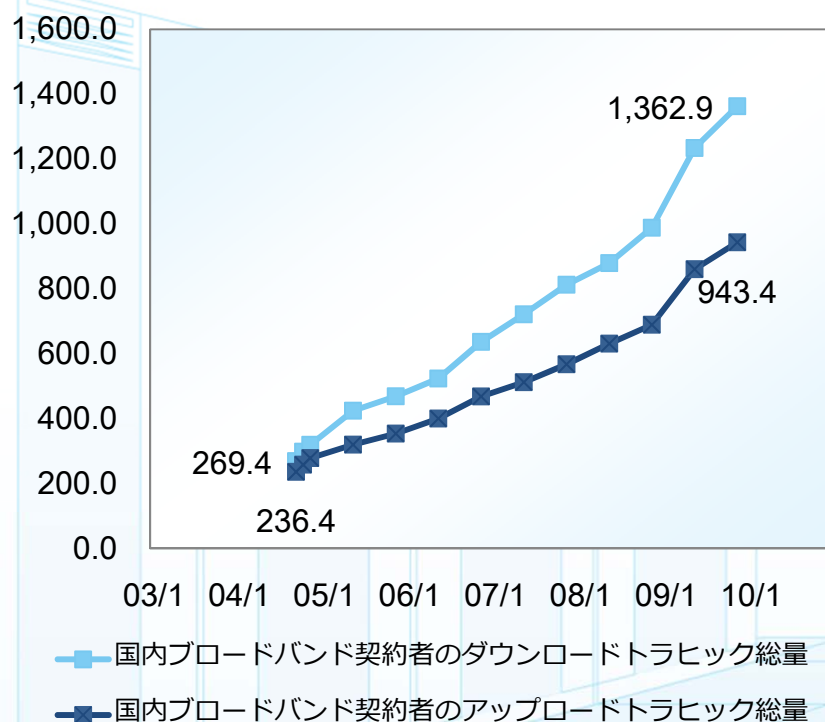
ITインフラ
調達

バックボーン網の
最適化

国内トップのバックボーンネットワーク回線容量

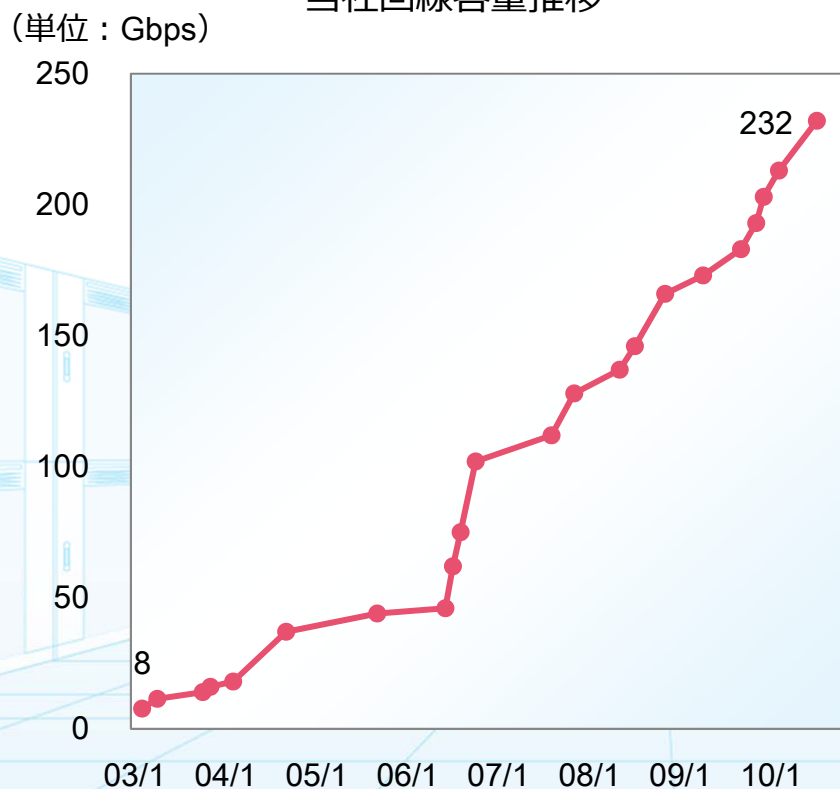
232Gbps
(10年7月31日現在)

国内ブロードバンド契約者の
トラフィック総量推移
(単位：Gbps)



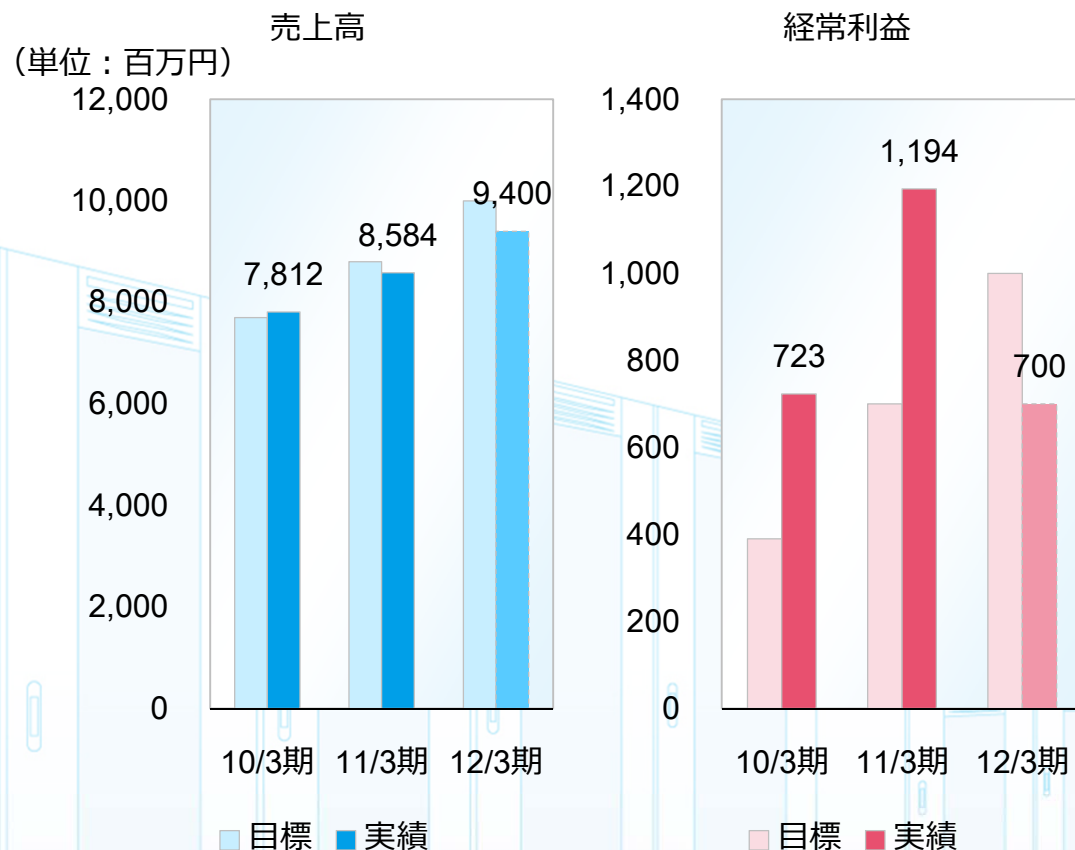
出典：総務省「我が国のインターネットにおけるトラフィック総量の把握」

当社回線容量推移
(単位：Gbps)



6. 数値目標の進捗

＜中期経営計画の目標値達成状況＞



売上高・未達の要因

- ・ホスティング需要の高まり
 - ・東京都心部のデータセンターが増加
- ↓
- ・サービス単価の大きいハウジングサービスの受注が苦戦

経常利益・達成の要因

- ・主要顧客層（SNSアプリ、モバイルコンテンツ）の市場が拡大
 - ・コストパフォーマンスに優れたサービスを継続して提供
- ↓
- ・収益性の高いホスティングサービスの売上構成比が増加

売上高は未達の見込みも、
経常利益は1年前倒しで10億円超達成

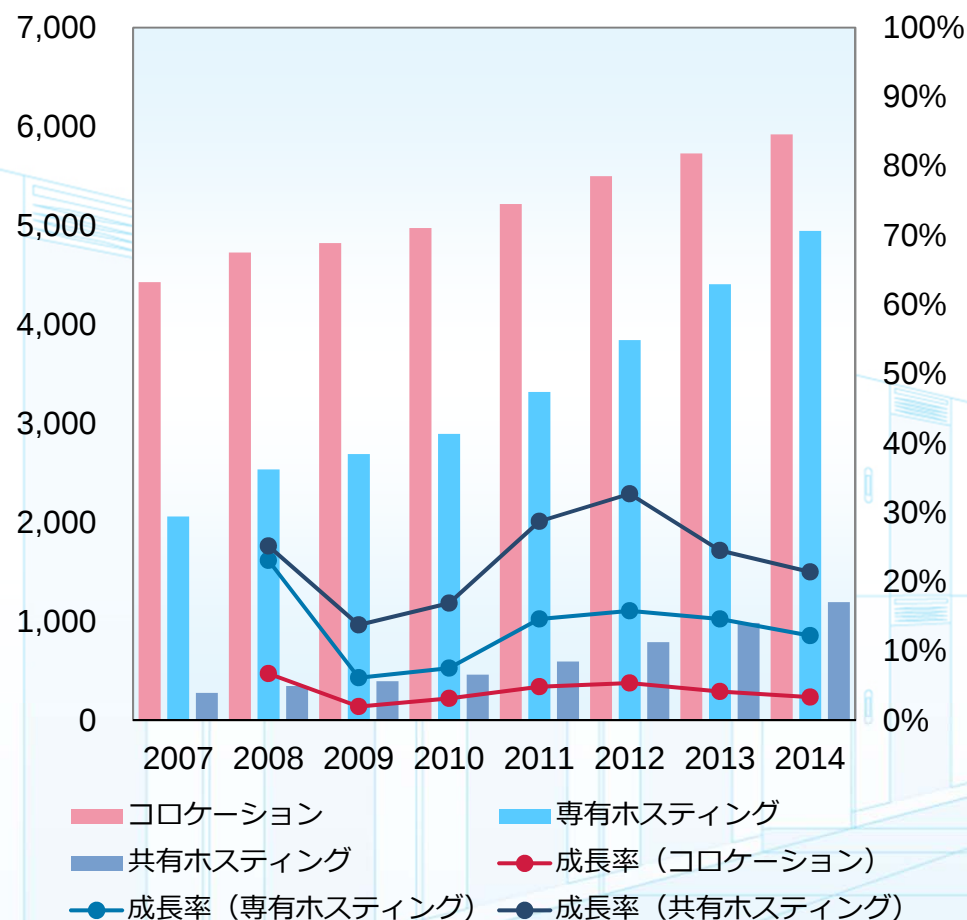
12年3月期より新たな事業計画へ

IV. 今後の展望

1. 市場展望

国内データセンターアウトソーシング
市場規模予測

(単位：億円)



出典：IDC Japan, 2010年9月「国内データセンターアウトソーシング市場
2009年の実績と2010年～2014年の予測：ユーザー実態調査」(J10360102)

需要動向

ITコストの
削減

IT資産の
オフバランス

BCP対策



初期費用負担の
軽減

コロケーション（所有）から
ホスティング（利用）へ

供給動向

東日本大震災

外国企業の
日本進出

新規参入企業の
増加



電力供給問題
(関東圏)

価格競争の更なる激化

2. 2012年3月期以降の重点課題

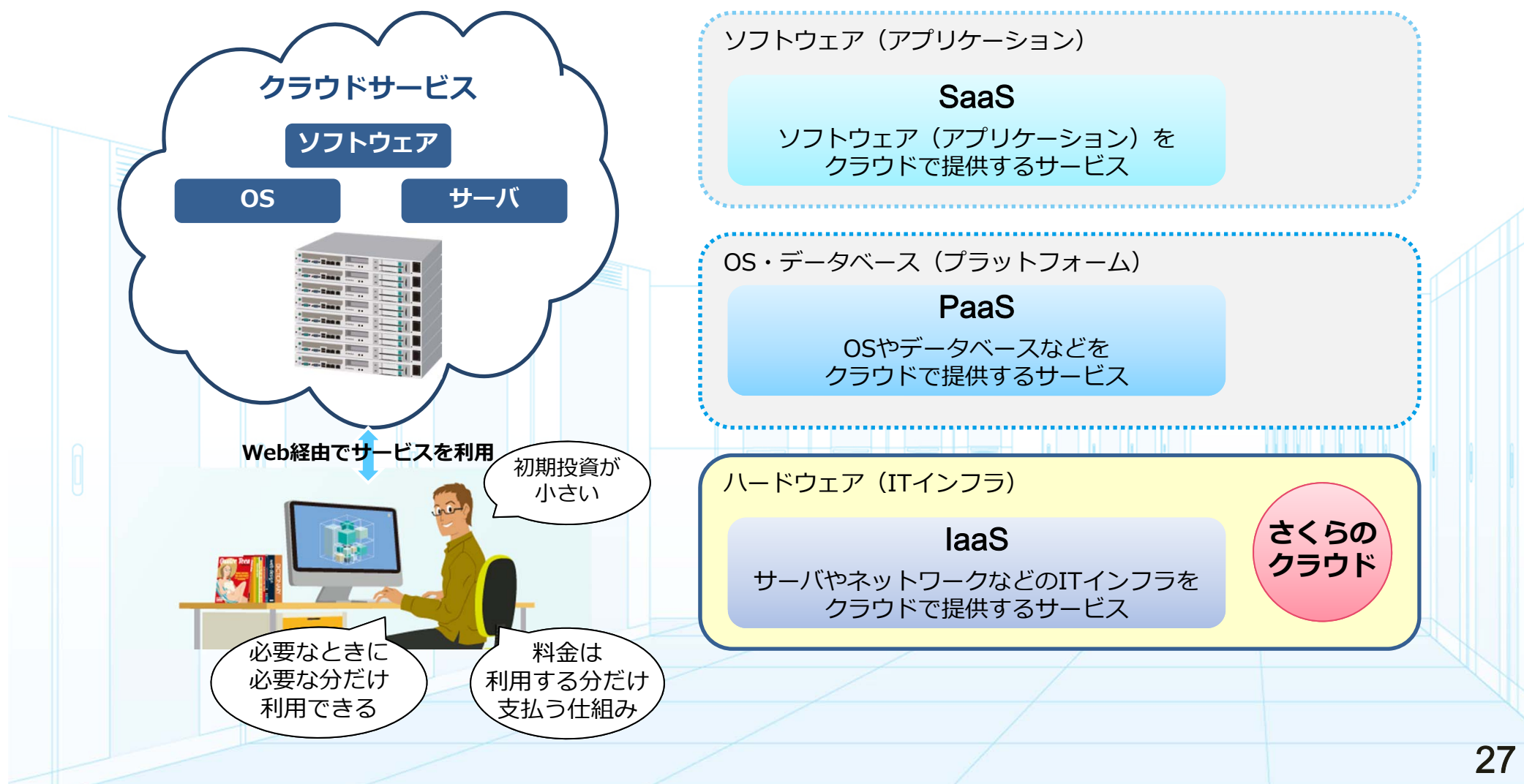


重点課題

- ① 初期費用負担の少ないサービス提供の推進
- ② サービス供給拠点の地域分散
- ③ コスト競争に強く、災害耐性に優れたホスティング供給体制
- ④ データセンター事業者ならではの消費電力削減、復興支援

① 初期費用負担の少ないサービス提供の推進

- 当社初のクラウドサービス「**さくらのクラウド**」を投入（11年夏予定）



① 初期費用負担の少ないサービス提供の推進

- 当社だからこそ、実現できる**圧倒的なコストパフォーマンスとサービス柔軟性**

「さくらのクラウド」の特長

- ✓ シンプルな料金体系
利用するサーバのCPUとディスク容量に応じて課金
- ✓ 柔軟で自在性の高いサービスプラン
提供プランのラインナップを幅広く用意
- ✓ 優れたユーザビリティ
サーバを直観的に運用・管理できる機能を採用

< 顧客メリット >

予算化しやすい

事業ステージに応じた
組み合わせが可能

ITエンジニアの
作業効率向上

スケールメリット
(国内トップクラスの顧客基盤)

自社ITインフラ・開発機能

当社の強み

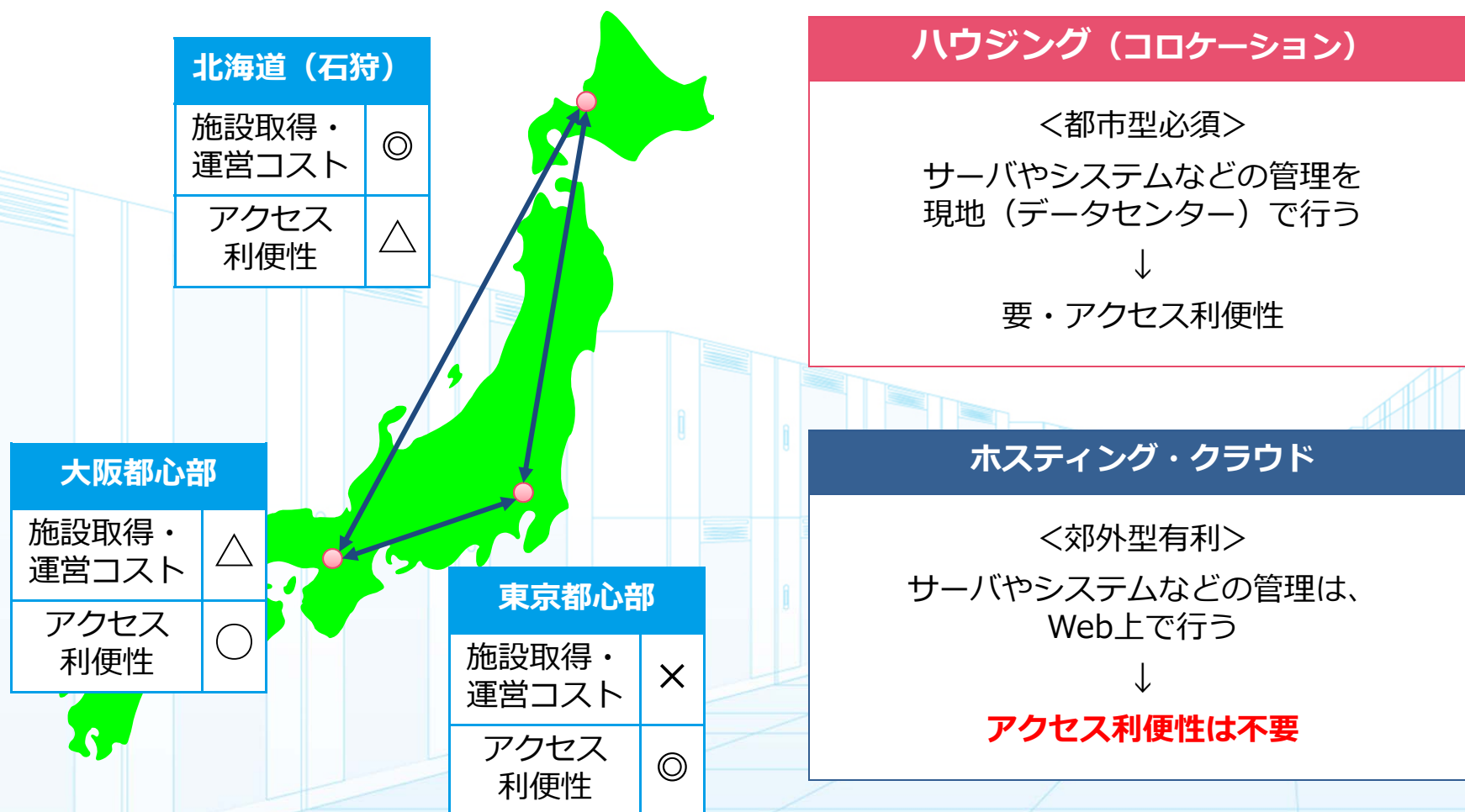
高いコストパフォーマンス

提供サービスの柔軟性

顧客が享受できるメリット

② サービス供給拠点の地域分散

- LAN間接続により、異なる拠点やサービス間のシームレスな連携を実現



③ コスト競争に強く、災害耐性に優れたホスティング供給体制

- ホスティングのサービス供給に特化した「石狩データセンター」

A) 世界標準のコスト構造

- ✓ 北海道の外気を活用し、空調コストを徹底的に削減



▲ 石狩データセンター断面図（イメージ）

- ✓ スケールメリットを活かし、共用設備や運用保守コストを削減
- ✓ 分棟式・分室式を採用し、需要動向に応じた段階的な設備投資が可能

- ホスティングのサービス供給に特化した「石狩データセンター」

B) 災害リスクの低いロケーション

✓ 地震発生リスク

今後30年間 震度6弱以上の地震が発生する確率：0.1～3%

※地震調査研究推進本部（地震ハザードステーション J-SHIS）「今後30年間 震度6弱以上の揺れに見舞われる確率」の分布図より

✓ 津波リスク

想定される地震発生に伴う津波が、建設地の属する地域に到達する最高点：4.7m
（建設地の地盤高：5.5m～）

※北海道総務部危機対策局「津波シミュレーション及び被害想定調査業務（北海道日本海沿岸）報告書」より

建設地最寄港の観測結果		
北海道南西沖地震	1993年	最大0.7m
東日本大震災	2011年	最大0.4m

✓ 液状化リスク

液状化が発生する確率は低い
仮に発生しても沈下量は小さく、影響は限定的

※石狩データセンターは二層構造で、建物重量も比較的軽い



確率0(%)のメッシュは無色です。



③ コスト競争に強く、災害耐性に優れたホスティング供給体制

● 石狩データセンター 第1期工事の概要

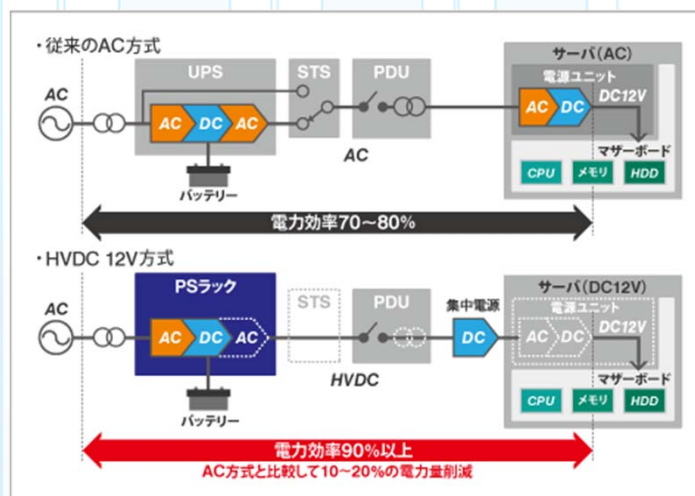
✓ 2棟同時建設

<同時建設の理由>

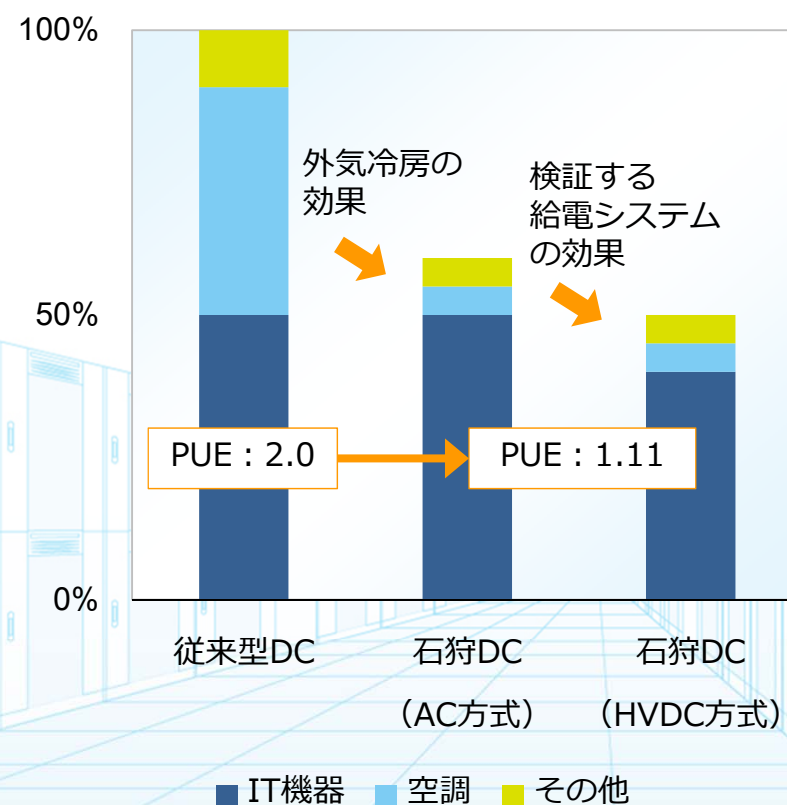
- 需要を先取りした建設計画が必要
 - － 冬季の工事着工が非常に困難
 - － 着工から運用までにかかる期間が長い
- 建物の機能的な陳腐化リスクが小さい
- 投資額が設備機器と比較して安価

✓ 初期設置サーバラック数は約200台の予定

✓ 電力効率の高い給電システムの導入検証



消費電力の削減効果

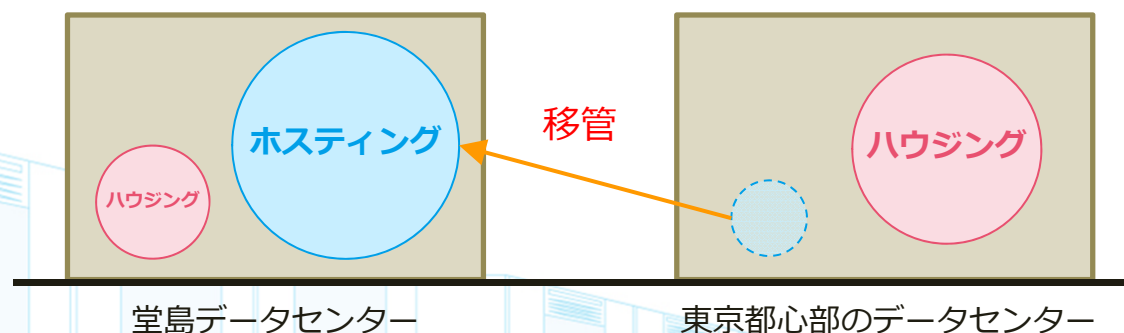


※ PUE…データセンターのエネルギー効率を示す指標のこと

④ データセンター事業者ならではの消費電力削減と復興支援

- 電力消費抑制

- 東京都心部のデータセンターが持つホスティングサービスの供給機能を、大阪都心部のデータセンター（堂島データセンター）に一部移管



- 堂島データセンターのホスティングサービスの供給能力を強化

- 震災被災者への復興支援

- 既存顧客
 - サービス利用料金 2 カ月分を無料
- 緊急時支援の一例

<日本経済新聞 5月1日>

●震災が問う情報管理 急がれるクラウドの活用（8面）【記事一部抜粋】

「あの時は助かった」。岩手県では震災直後、県のホームページにアクセスが殺到。システムがパンクしそうになった。担当者がツイッターでSOSを出すと、さくらインターネットなどクラウド事業者がすぐに代替サイトを用意してくれた。

3. 2012年3月期 通期見通し

(金額：百万円)

科目名	11/3期 通期 (実績)		12/3期 Q2累計 (予想)		12/3期 通期 (予想)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	8,584	9.9	① 4,600	9.2	9,400	9.5
営業利益	1,225	63.7	② 520	△20.6	740	△39.6
経常利益	1,194	65.0	500	△22.6	700	△41.4
当期純利益	572	1.0	280	△6.3	400	△30.2

- ① 初期費用負担の少ないVPS・クラウドサービスの提供推進や東日本大震災の影響
- ② 既存データセンターへの設備投資や石狩データセンターに係る諸経費などにより、固定費比率が一時的に上昇する見込み



※ 当資料に掲載されている業績予想などは、資料作成時点における弊社の判断に基づいており、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因により、当資料記載の業績予想とは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

■ IRに関するお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 東京支社

Tel : 03-5332-7077
E-mail : ir@sakura.ad.jp
担当 : 岡本